

アンケート・ヒアリング調査の実施計画書（案）

令和5年7月26日

1. 調査概要

1-1 調査目的

市民の日常生活における移動実態や公共交通の利用状況について調査を行い、地域公共交通の問題点・課題などを把握することで、地域公共交通計画の策定及び地域公共交通の再編に向けた検討をするための資料として活用します。

1-2 調査対象及び調査方法

(1) 市民アンケート

日常的な交通行動、公共交通の利用状況、サービスに対する満足度、公共交通の維持・確保のあり方、公共交通の利用者及び公共交通の潜在需要層のニーズを把握し、将来の地域公共交通のすがたやその実現に向けて必要となる施策等を検討するための基礎資料として市民アンケート調査を実施します。

○狭山市民を対象とします。

○調査票配布数は2,000票とし、全市に占める各地区の人口及び人口割合、過年度の調査実施状況も踏まえて、地区別の配布数を設定します。（堀兼地区は、ほりかねデマンドバスの関係で、令和4年度と令和5年度にアンケート調査を実施）

○郵送配布、郵送回収により調査を実施し、Webでの回答も可能とします。

調査項目	分析の視点
◆日常生活の外出状況 ・目的別(通勤、通学、通院、買物、その他)の外出頻度、移動時間帯、移動手段、目的地 ・市内の移動ニーズ及び市外への移動状況	・移動実態・ニーズと現行の公共交通網・運行ダイヤと照らし合わせ、移動状況やニーズとのズレや問題点を把握し、改善策を検討。
◆公共交通の利用状況 ・公共交通の利用有無、利用している公共交通(路線バス、市内循環バス「茶の花号」、鉄道、タクシー、送迎サービス)、利用頻度、利用バス停・鉄道駅、利用する理由	・公共交通の新規利用、既存利用者の利用促進に向けた施策内容の重要度や優先度を把握し、改善策を検討。 ・どのようなケースで各公共交通を利用しているのかを把握し、どのような見直しが必要なのかを検討。
◆公共交通の満足度 ・バス停や駅前の移動、運行ルート、運行時間帯、運行本数、定時性、乗り継ぎ、車両、運賃、情報提供、待合環境等 ・公共交通に対する改善要望	
◆新たな公共交通のニーズ ・メリット・デメリットを示した上、デマンド交通、自家用有償旅客運送等に対するニーズ ・自家用有償旅客運送等の運転手としての意向 ・小型モビリティ、電動キックボード、AI デマンド、MaaS などに対するニーズ	・新たな公共交通に対する市民ニーズを把握し、新たな公共交通の事業化に向けて検討。
◆基本属性 ・年齢、性別、居住地、職業、免許保有、免許返納に対する考え、自動車保有、スマートフォン保有、ICカード保有	・属性別の集計に活用。

(2) 市内循環バス「茶の花号」の利用者アンケート

市内循環バス「茶の花号」について、利用状況(乗降バス停、乗降場所、利用目的、利用頻度、乗継状況など)や利用ニーズ(求める改善策など)の調査を行います。

○市内循環バス「茶の花号」の利用者を調査対象とする。

調査項目	分析の視点
◆ 利用特性 (乗車バス停と降車バス停(OD)、利用時間帯、利用目的、利用頻度)	・目的別の利用状況とサービスレベルの問題点を把握し、効率化する区間と維持する区間など、公共交通の見直しに向けて検討。
◆ 他の公共交通の利用状況 (路線バス、乗用タクシーの使い分けなど)	・どういったケースで各公共交通を利用しているのかを把握し、どのような公共交通が最適なかを検討。
◆ 公共交通に対する意識 (今後のあり方(定時定路型の維持、デマンド型の導入、タクシー有効活用、小型モビリティなどの新たな公共交通の導入)	・公共交通に対する意識を把握し、利用者が求めている地域公共交通を検討。
◆ 回答者の基本属性 ・年齢、性別、居住地(市内・市外)、職業、免許保有、自動車保有、スマートフォン保有、ICカード保有	・回答者の属性別の集計に活用。

(3) 事業者ヒアリング

公共交通に対する要望・ニーズを把握するため、交通事業者等へのヒアリング調査を行います。

1-3 調査日時

(1) 市民アンケート

- ・配布日 令和5年8月下旬
- ・調査日 令和5年8月下旬～9月上旬(2週間程度)

(2) 市内循環バス「茶の花号」利用者アンケート

- ・調査日 令和5年8月下旬～9月下旬(1ヶ月程度)
- ・調査時間 全ルートが運行している全便

(3) 事業者ヒアリング

- ・調査日 令和5年8月上旬～9月上旬